



日本兒童

主幹 高島平三郎  
醫學博士 富士川游

# 兒童研究

學會機關

社會の改善も、人類の向上も、文明の進歩も、國家の發展も、詮じつむれば、たゞ善良の兒童を得るにありと言ふことになる。兒童を愛する國は興り、兒童を顧みざる國は亡ぶ、これは千古萬古變ることなき箴言である。兒童の研究は、ひとり教育家や、醫家に一任して置くべきものではない、世の父兄自ら研究すべき筈のものである。兒童の研究は即ち我を愛し、家を愛し、國を愛し、人類を愛することになる、兒童のために最善を謀らざる家庭は、決して幸福を望むことは出來ぬ、我儕は何人も兒童の研究に興味を持たれんことを切に希望してやまないのである。

○會費半箇年分金九拾參錢 同一箇年分壹圓八拾錢 ○兒童研究は毎月一回一日發行 ○會員には無代頒布

東京市本郷區西片町十番地

日本兒童學會

振替貯金東京二二九九五番

## 兒童研究第十八卷第十號目次

評論……………三三

學校醫問題○教科書國定の制度に就て○中等教育に於ける修身科○補助學校設立の急務

講演 演

育兒上寒心すべき一二の廣告紀事に就て 醫學士 竹内 薫兵述 三三  
幼年裁判に就て 法學士 山崎 佐述 三四

叢談

如何にして子供を丈夫にならしむべきか 醫學博士 唐澤 光徳述 三五  
學齡兒童智力検査法ニ就テ ドクトル 三田谷 啓述 三六  
小學校の優等生及び劣等生と其生れし 田村龜太郎述 三六  
時の父の年齢との關係 文 部 省 三七

兒童ノ身體ニ關スル統計(承前)

雜報……………三九

日本兒童學會第十回總會○兒童教養相談所の設立○廣島縣教育品展覽會○兵庫縣結核豫防會設立趣意○全國幼稚園關係者大會○地方土産及び移入○日本犯罪學會講演會○兒童博覽會○雜誌新教育○日本神經學會總會○ヘーガル追用紀念講演會○日本神經學會九州地方會○學校衛生講演會○日本小兒科學會福岡地方會○大阪兒童學會常會○新刊紹介○動靜○轉居○雜誌文籍○新入會員

兒童學叢報

學童鼻たらし及び口蓋扁桃腺肥大ノ精神能力(承前) 安西茂太郎述 三七  
學校兒童の爲めの園藝 ホルリングウォルス述 三八  
家庭の化物譚 イー、シー、パーソンズ述 三六